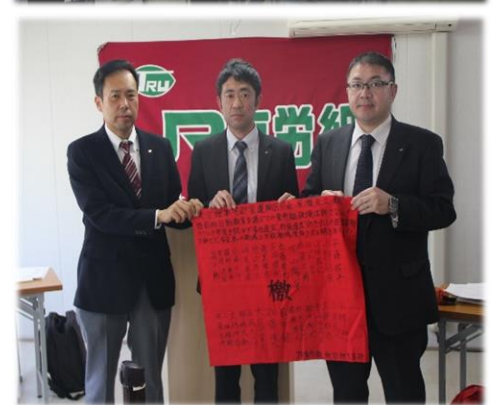


宇都宮運輸区分会との意見交換会開催！



4月12日、宇都宮運輸区分会との意見交換会を開催しました。宇都宮運輸区分会と宇都宮支部の仲間から「宇都宮運輸区分会で発生した懲罰的日勤教育とパワハラ労災申請」のたたかいについて報告を受け、意見交換を行いました。報告では、「事象を発生させてしまった当該運転士も反省し、乗務復帰に向けて再教育を受けていた。しかし、日勤教育は原因究明とは関係のない作業の繰り返しと『理解度確認』『決意表明へ赤入れをされての数回の書き直し』『覚悟を持って』と何度も言われ、先の見えない長期の日勤教育が行われた。面談の中では『一回、運転士をクビになった状態なのだから、強い気持ちで押し返して欲しかったのに、その甘えた気持ちにガッカリした』など、当該運転士を精神的に追い込み苦しめ、うつ病と診断され職場復帰ができていない。また、ハラスメントが原因で就業ができなくなったことから、パワハラ労災申請のため事業証明の記載を会社に求めたところ、証明を拒否された。しかし、本人と家族の生活を守るため労基署にパワハラ労災申請を行った。パワハラ労災を認めない会社経営姿勢を許さず、責任追及ではなく職場から安全風土の再確立をつくりだし、仲間と家族をしっかり支えていく」ことが語られました。

意見交換では、「事象を起こせば個人の責任に切り縮め責任追及。一方で、1月東北新幹線での停電と作業員の感電、3月郡山駅での新幹線オーバーランをはじめとした、多くの事象について経営幹部は責任とらない。事象の背景を掘って議論しなくては、安全風土は築けない。」「安全よりも兼務、ユニット、インターン等『連携一融合』が重要視されている。目的が何であるのか議論を深めていかななくては、懲罰的日勤教育がおこなわれた会社の狙いに気付かない。」等多くの意見がだされました。最後に会社による責任追及の強権的な会社姿勢を許さず、当該運転士と家族を支え、安全第一の職場をつくりだしていくことを参加者全員で確認しました。

**懲罰的日勤教育、パワハラ労災申請を認めない
 異常な経営体質を許さない！
 安全で安心して働ける職場をつくりだそう！**